

国からの支援手続きで

生産者をサポート

「6月29日～7月20日」当JAは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国の「持続化給付金」や「高収益作物次期作支援交付金」、「経営継続補助金」の申請手続きに、相談窓口を設置するなどして組合員をサポートしました。

生産者へ文書の送付、広報誌での呼びかけ等で周知を図り、各種申請の手続きは、農家経営支援センター、各支所営農販売課で対応を行いました。



※「経営継続補助金」2次募集のお知らせは、8ページに掲載しております。

種子島の夏の果物

マンゴー出荷最盛期

「7月中～下旬」中種子町で、種子島産マンゴーの出荷が最盛期を迎えています。

平成26年度に県域ブランド「かごしまマンゴー」の産地指定を受け、産地形成と知名度向上、高品質果実の生産に向けて取り組んできた種子島産マンゴーは、甘くさわやかな香りと、とろりとした濃厚な味わいを楽しめて、夏場の贈答用としても人気です。

今年、約5トンの出荷見込みで、Aコープでの販売を始め、県内の青果市場へ出荷を行っており、8月中旬まで続きます。



『でん粉原料用甘しょ生産者の皆様へ』

でん粉原料用甘しょの収穫においては、平成23年度より尻根部分の除去を行わずに出荷できるようになっております。その結果、収穫時間の短縮や労力の削減等、大きなメリットがあったと生産者の皆様方には大変喜ばれていただいているところです。

しかしながら、澱粉工場側では、土砂の混入およびなり口部分の除去がなされていない甘藷の搬入が多くなり、問題が生じております。

令和2年度も昨年同様の出荷方法と致しますが、下記の注意点を必ず遵守していただきますよう、生産者皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【注意点】

- ①尻根部分の除去はせずに構いませんが、なり口部分については必ず除去してください。
- ②付着している土砂については、できる限り取り除いてください。特に圃場内でバケツに甘藷を入れてダンプに載せる場合は、土砂が逃げるところがありませんので、ご注意ください。
- ③腐敗している甘藷については、出荷ができませんのでご注意ください。

なお、令和2年度産原料用甘しょ価格が決まりましたので、お知らせ致します。
原料代・交付金合わせて、1,372円/俵（前年比+11円/俵）



双子座
5/21
～6/21

【全体運】 友人とのコミュニケーションでライフスタイルが活性化。「初耳」のことにはトライして。面白い発見があるはず
【健康運】 家族と一緒に盛り上がるスポーツが◎
【幸運を呼ぶ食べ物】 カボチャ

JA たねやく
2020・8

4